

Yamaha MO6/MO8 Voice Editor V2.2.2 for Windows

リリースノート

ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。

MO6/MO8 Voice Editor for Windows(以降、Editor)は、MO6/MO8 の音色やエフェクトに関するさまざまなパラメーターを、視覚的に捉えながら設定することができるソフトウェアです。エディットしたデータは、まとめて MO6/MO8 上に送信したり、MO6/MO8 上のボイスデータをコンピューターに保存したりすることができます。また、このソフトウェアで作成して USB 対応記憶装置に保存したデータは、MO6/MO8 で直接読み込むことができます。

また、このソフトウェアは Studio Connections の Recall に対応した DAW ソフトウェア上でお使いいただけるほか、単体の Editor としてもお使いいただくことができます。

■ インストール時の注意

あらかじめ最新版の Studio Manager をコンピューターにインストールしてください。

■ バージョンの確認方法

現在ご使用の Editor のバージョンは、Editor を起動して、[ヘルプ]メニュー→[バージョン情報]でご確認ください。

■ 主なアップデートポイント

【V2.2.0→V2.2.2】

- ・ Windows 7 に対応しました。
- ・ Cubase のバーチャルキーボードを使用すると音が鳴り続けることがある問題を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.6→V2.2.0】

- ・ 複数の Editor を開いた状態で保存した YSM ファイルを読み込む際に、01X などの MIDI 機器が接続されていると Studio Manager が強制終了する問題を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.4→V2.1.6】

- ・ Recall にかかる時間を改善しました。
- ・ Drum Key 画面で各 Key に Voice 選択するときに、Category ごとでの選択が可能になりました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.3→V2.1.4】

- ・ Cubase にて Studio Manager Version2 の Device 設定が"いいえ"の状態では YSM ファイルを何度か Import すると Cubase がフリーズする問題を修正しました。
- ・ SQ01 にて Editor を開いた状態でメインフレームを閉じると SQ01 がハングアップする問題を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.1→V2.1.3】

- ・ YSM ファイルを開いたときに、Editor の MIDI ポート設定が正しく設定されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ SQ01 で動作しているときに、Bulk 受信時に Thru ポートが動作してしまう不具合を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

* このリリースノートに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

Copyright (C) 2005-2010 Yamaha Corporation. All rights reserved.